



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより No. 36

斜里岳原生林で森林散策会

すばらしい眺望に歓声

10月2日（日）、日本百名山の一つである斜里岳の山麓にある「斜里岳原生林ウォーキングコース」（清里町）で33名の参加により森林散策会を実施しました。

当日は天候に恵まれ、5合目の清岳荘（標高 680 m）を出発し、標高 800 m付近までのコースを約1時間30分かけて散策しました。

出発地周辺ではダケカンバ・ナナカマドを主体にトドマツ・エゾマツが混交する森林でしたが、登るにつれて風や積雪の影響で樹高が低くなり、標高の変化を感じました。

また、足下にはいろいろなキノコやツルリンドウなどを観察することができ、秋を満喫しました。

到達地点では、斜里町・清里町を中心とした田園風景がまるでパッチワークのように広がり、遠くにはオホーツク海が一望できる景色に歓声が上がりました。

帰りに立ち寄った道の駅パスランド（清里町札弦）では、足湯を楽しんだり、地元農家産の野菜をたくさん買い込んだり、特産のじゃがいも焼酎を試飲したり…改めて自然に親しみ、恵みを実感した散策会でした。



クマザサは



熊じゃない！

斜里岳原生林ウォーキングコースは初秋の木漏れ日がさして、地面は柔らかかで心地よく散策を始めました。

コースは下草を2mほどの幅に刈ってあり、案内標識と樹木の説明板が所々に立てているだけの道でした。

辺りには大きなマツやカバ等の巨木が不規則にそびえ立っていました。また、普段見慣れているシラカバと違って、あちこち黒ずんだ幹のダケカンバのどっしりした姿にも目を引かれました。



ミヤマガマズミ

紅葉には少し間があるようでしたが、ナナカマドやミヤマガマズミの赤い実がきれいでした。

また、ガイドさんの見つけてくれたツルリンドウの紫がかったピンクの実が可愛かったです。



さらに、シダやササの説明もしてくれましたが、特にクマザサは「熊笹ではなく隈笹」という話が印象に残りました。

1kmほどの散策でしたが、人の手の加わっていない森林の姿を見て、知床自然遺産の意義も分かるような気がしました。

昼食は、山荘の前庭に座り、斜里市街や手前の広い畑と穏やかなオホーツク海を眺めながら食べました。

楽しい散策会になったことに関係者の皆さんに感謝します。

中野 慎一

見るもの・聞くことみな新鮮

絶好のハイキング日和に恵まれて原生林には平地では見られぬ手つかずのものがあり、ワクワクして写真に納めながら歩きました。

マツ、ナラ、ダケカンバの大きいこと、カバノアナタケ、ツリガネタケの不思議な色や形、ツルリンドウの実の紅い輝き、ミヤマノキシノブが高山にしか生息しないという難解さ、見る物・聞くこと、みな新鮮でした。



ツルリンドウ

百名山と言われる斜里岳は、形の美しさのみならず、その懐は深く豊かであることをつくづく感じた一日でした。

ありがとうございました。

尾村 教子

恩師…出会い…縁…

6月、常呂川森林ふれあい推進センターの主催するイベント…バスの中で思わぬ人と会った。

小学校2～3年生の頃の担任の先生とおよそ半世紀を経ての再会、今は廃校となった一学年10名足らずの小さな学校、「初めて受け持った子供たち、みんなのことをしっかり覚えているよ」と言われ、うれしいやら、恥ずかしいやら…鼻を垂らしていた頃のイヤ～な思い出が脳裏を駆けめぐる。

「オホーツクの会」がなかったら…、そのイベントに参加しなかったら…、バスに乗らなかったら…、偶然の積み重ねが出会いであり、【縁】なのだろうか～。

そして、斜里岳へ向かうバスの中、車窓から見る学校跡地と先生の持ってきた50年前の写真が「出会いを大切に…」とやさしく語りかけてくれた。

<K>

緑のセンターでパネル展

森林のすばらしさを紹介

10月1日～10日、北見市緑のセンターで『ふれセン』と当会は、一般市民に森林の大切さを理解していただき、森作り活動を進めていくことを目的に「森へおいでよ！パネル展」を開催しました。

『ふれセン』からは、自然再生事業とともにオホーツクの森で見ることができる植物の花や野生動物の写真などが展示され、身近に自然のすばらしさがたくさんあることなどが紹介されました。



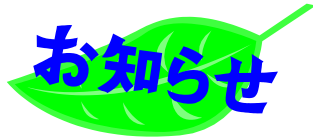
当会からは、吉田事務局長や渋谷会員の作成した自然素材を活用したクラフトと合わせ、森林散策や森林ボランティア活動、自然の中で体験する“こども探検隊”の楽しそうな写真などを展示しました。

来館者は、会場に展示された工作に感慨深げに見入ったり、マツボックリ工作や竹とんぼを作って楽しんでいました。

開催中は、延べ390名の方々が訪れ、反応も好評であり、当会の活動に理解をいただき入会された方も数名いらっしゃいます。



（協力頂いた会員：渋谷、長谷川、轡田、吉田（正）、吉田（昭）、小島、植村、金村、角（順不同））



○森林散策（第2回）

日 時 平成29年2月19日（日）
8：30 常呂川FC受付（バスが出ます）
9：00 バス出発

場 所 弟子屈町「ポンポン山」
スノーシューを履いて雪の上を歩きます。（スノーシューは借りられます。）

※ 申し込みの際は、別紙申し込み用紙を活用下さい

○第9回総会

日 時 平成29年3月11日（土） 10：00～
場 所 常呂川森林ふれあい推進センター 2階会議室

10月1日付けで常呂川森林ふれあい推進センターの人事異動がありました。

所 長

白 藤 末 人 北海道森林管理局 計画保全部保全課へ
川 淵 義 昭 網走南部森林管理署より

自然再生指導官

岩 本 智 行 網走南部森林管理署へ

白藤所長には2年間、岩本指導官には3年6ヶ月の間お世話になりありがとうございました。

特に、岩本指導官には当会の事務局担当として大変お世話になり、改めてお礼申し上げます。

お二人の新任地での活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

なお、今回の異動に伴い近藤自然再生指導官が担当になります。

会費の納入のお願い

ご承知のとおり当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。

心当たりの方はよろしくお願いします。



— 納入方法 —

- ・ 総会で納入
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入（月曜～金曜（祝祭日は除く）8：30～16：30）
- ・ 会が開催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144